

## 庁議（令和6年3月26日）結果について

- 1 開催日 令和6年3月26日（火）
- 2 場所 庁議室
- 3 出席者 市長、今井副市長、津田副市長、教育長  
市長室長、企画政策部長、総務部長
- 4 説明者 福祉部長、都市整備部長、土木部長
- 5 事務局 秘書課長、広報課長、財政課長、行政総務課長  
企画政策課長、政策担当長、企画政策課主査
- 6 付議事項

- (1) 平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第9期〕）の策定及びパブリックコメント手続の実施結果について

概要	<p>老人福祉法及び介護保険法に基づき、3年に一度「平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画）」を策定し、高齢者福祉施策及び介護保険事業の方向性等を定め取組を進めている。</p> <p>令和3年3月に策定した「平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第8期〕）」が、令和5年度で最終年度を迎えることから、令和6年度から8年度までを計画期間とする「平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第9期〕）」を策定した。</p> <p>団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）や、団塊のジュニア世代が65歳以上となる令和22年（2040年）の高齢者を取り巻く状況を見据えながら、本計画に沿って「地域包括ケアシステム」をより一層深化・推進する。</p> <p>なお、計画の策定に当たっては、高齢者等の実態調査や附属機関からの意見聴取、パブリックコメント手続の実施により、幅広く市民等の意見をいただき、計画に反映するよう努めた。</p>
結果	審議の結果承認された。

- (2) 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業の工事着手の延期について

概要	<p>令和6年3月29日までとしていた実施協定の締結期限については、令和6年1月24日にさらに3か月延期する旨を公表したが、このたび、平塚 SeasidePark 共同事業体から同期限を令和6年6月28日に変更する申出がなされたことから、これに合意するものである。</p>
結果	審議の結果承認された。

- (3) 平塚市下水道施設耐震長寿命化計画の策定について

概要	<p>全国的に、下水道施設の多くは、老朽化が進んでいるとともに、施設の耐震化が進んでいないことから、国では長寿命化及び耐震化の交付金支援を創設し、自治体に対し、対策を促進している。また、近年、全国各地で豪雨等による水害が頻発し、処理場等が浸水により機能停止するなどの被害も発生しており、国からは令和8年度までの耐水化対策が求められている。</p>
----	---

	<p>本市の下水道施設は、昭和39年度に整備が開始され、約1,218kmの管路と10箇所のポンプ場が整備されており、今後、集中的に見込まれる施設の長寿命化対策を進めていく必要がある。また、耐震指針改定以前に整備された約890kmの管路と7箇所のポンプ場では、耐震性能の確認が必要となっており、8箇所のポンプ場では耐水化対策を進めていく必要があることから、本計画は以前より取り組んでいる事業を整理し、平塚市下水道事業経営戦略で定めている令和12年度までの投資計画に基づき、計画的に推進することを目的として策定するものである。</p>
結果	審議の結果承認された。

(4) 平塚市総合浸水対策第3次実施計画の策定について

概要	<p>本市では、自助・公助を組み合わせた総合的な浸水対策を推進するため、平成26年度に計画期間を15箇年とした「平塚市総合浸水対策基本計画」を策定し、計画期間中である令和元年度には、その実施計画として計画期間を5箇年とした「平塚市総合浸水対策第2次実施計画」を策定し、重点対策地区を定め、継続した浸水対策を推進してきた。</p> <p>本計画は、基本計画の最後の5箇年である令和6年度から令和10年度までの実施計画となり、これまで実施してきた対策の検証結果や新たな浸水被害発生地区の現状、国及び県が実施する河川整備などと連携して進めている流域治水の取組みなども踏まえ、浸水対策をさらに推進していくことを目的として策定するものである。</p>
結果	審議の結果承認された。

以上